

鴨川ふるさと会だより

— 第4号 —

鴨川ふるさと会事務局発行：〒296-8601 千葉県鴨川市横渚1450番地(鴨川市役所企画政策課内) TEL:04-7093-7828

平成22年度定期総会を開催します！

来たる平成22年8月1日(日)に、東京都中央区のホテル銀座ラフィナート(旧京橋会館)で本年度の定期総会を開催します。

当日は石田三示衆議院議員(鴨川市大山地区在住・長狭高OB)・片桐市長・長谷川教育長を来賓としてお招きし、講演会や懇親会などを通して会員の皆さんと様々な交流を図っていただく予定です。ご家族やご友人等お誘い合わせのうえ、皆様是非ご参加ください。

日時：平成22年8月1日(日) 午前10時から午後2時ごろまで(昼軽食あり)

場所：ホテル銀座ラフィナート(東京都中央区)

会費：7千円(ご家族やご友人等と同伴の場合、お2人で9千円)

市政懇談会

本年度は、平成二十三年度を計画期間の初年度とする鴨川市の総合計画「第二次五か年計画」の策定年度となることから、今後における市の施策の方針などについて、片桐市長や長谷川教育長をお招きし、会員との懇談会を開催する予定です。

館山道の全面開通やアクアライン通行料八百円化の社会

石田議員による講演会



先に行われた第四十五回衆議院議員総選挙において比例代表・南関東選挙区から当選された、市内大山地区在住の石田衆議院議員による講演会の開催を予定しています。

NPO法人大山千枚田保存会で都市住民との地域間交流に取り組み、活躍の場を国政に広げた石田氏から、同氏が考える地域振興などについてお話いただく予定です。

ふるさと産品 盛りだくさんの懇親会と大抽選会

懇親会では「ふるさとの味覚」をテーマとして、特産品の直売会(後日の郵送可)や豪華景品を贈りながらの大抽選会を実施する予定です。

新旧の特産品をご用意してお待ちしておりますので、同郷の仲間との会話とともに、会員の皆様にお楽しみいただければと思います。



昨年度の様子(総会)

ふるさと大使の委嘱状交付式

本年度も総会の開催案内に併せて「鴨川ふるさと大使」(詳細については四ページをご覧ください)を大募集します。

本会報に就任関係書類を同封いたしましたので、ご意向をお持ちの方はこの機会に是非、ご登録をお願いいたします。

なお、今回ご登録いただいた方のうち、総会当日にご出席いただける方については、片桐市長から直接委嘱状を交付させていただく予定です。

出欠票のご提出をお願いします。

本年度総会へのご出席の可否については、本会報に同封の出欠票にて事務局へご連絡をお願いいたします。



昨年度の様子(懇親会)

皆さんの声を市政に！「鴨川市まちづくりアンケート」の結果等に基づき、ふるさと会から市へ提言を行います！

本年度、市では、平成二十三年度を計画期間の初年度とする「鴨川市第二次五か年計画」の策定を予定していますが、これに伴い、鴨川市への深い思い入れと客観的な意見をお持ちである会員の皆様のご意見をまっちづくりに活かすべく、本年の三月から四月にかけて、会員を対象として「鴨川市まちづくりアンケート」を実施したところ です。

今般、ご返送いただいた調査票の集計等が完了しましたので、ご協力いただきました会員の皆様に感謝を申し上げますとともに、ここに結果をご報告します。

また、今回のアンケート調査の結果についてはその内容を詳細に吟味したうえで、後日、会から市政への提言としてとりまとめ、本年度総会の市政懇談会の場において、片桐市長へ提出を行う予定です併せてお知らせいたします。

送付者数 367名 回答者数 93名 (回収率25.3%)

- 問1** あなたの性別はどちらですか。(択一)
男性 ……77.4% 女性 ……22.6%
問2 あなたの年齢はどの区分に該当しますか。(択一)
20歳代,30歳代 ……0.0%
40歳代 ……2.2% 50歳代 ……9.7%
60歳代 ……45.2% 70歳以上 ……43.0%

- 問3** あなたは、ふるさとを離れて何年くらい経ちますか。(択一)
10年未満 ……0.0%
10年以上20年未満 ……1.1%
20年以上30年未満 ……4.3%
30年以上 ……91.4% 無回答 ……1.1%

- 問4** あなたは、どのくらいの頻度で帰郷しますか。(択一)
頻繁に ……14.0% 月に1回 ……16.1%
年に2~3回 ……45.2% 数年に1回 ……19.4%
ほとんど帰郷しない ……4.3%
無回答 ……1.1%

- 問5** あなたは、鴨川市の情報をどこから入手していますか。(複数回答)
市内にいる家族・親類 ……61.3%
市内にいる友人・知人 ……23.7%
同郷の友人・知人 ……26.9%
市のホームページ ……15.1%
市以外のホームページ ……0.0%
新聞・雑誌等マスメディアから ……19.4%
ほとんど入手しない ……4.3%
その他 ……12.9%

- 問6** あなたは、将来、鴨川市に戻って暮らしたいと考えますか。(択一)
近年帰る予定である(※定年退職を除く) ……0.0%
定年後に帰る予定である ……4.3%
条件が整えば帰りたい ……14.0%
帰りたいが、現実的には難しい ……30.1%
帰るつもりはない ……47.3%
その他 ……3.2% 無回答 ……1.1%

問7 問6で「帰る予定」または「帰りたい」とお答えの方におたずねします。鴨川市に帰るためにどのような条件が必要とお考えでしょうか。(複数回答)

- 働く場がある ……26.7% 賃貸住宅がある ……11.1%
宅地や戸建て住宅を手でできる ……17.8%
娯楽や余暇の場が充実している ……31.1%
バスなどの公共交通機関が整っている ……26.7%
医療や介護の面で不安がない ……48.9%
買い物に不便がない ……35.6%
何度も通いたくなる料理店やカフェがある ……13.3%
子育て支援が充実している ……0.0%

- 進学に不利がない学校教育がなされている ……2.2%
鴨川市ならではの教育
 (自然体験や職業体験など)が行われている ……8.9%
生涯学習施設やスポーツ施設が充実している ……28.9%
多様な趣味・スポーツなどの地域クラブ活動が活発である ……31.1%
高速でインターネットが利用できる ……24.4%
その他 ……26.7%

問8 問6で「帰るつもりはない」とお答えになった方におたずねします。それはどのような理由からですか。(複数回答)

- 働く場所がない ……4.5%
子どもの教育のため ……11.4%
気候が厳しい ……2.3% おしきたりが面倒 ……2.3%
つきあいが面倒 ……2.3% 刺激が少ない ……4.5%
都会的雰囲気がない ……2.3%
スポーツや娯楽の場が少ない ……6.8%
家や土地の手当がつかない ……2.3%
生活の基盤が完全に現在住んでいるところに乗かれています ……97.7%
都市生活の利便性に慣れてしまい
 田舎暮らしはしたくない ……18.2%
その他 ……13.6%

- 問9** 他の市町村にはない「ふるさと鴨川の強み」だとあなたが思うことを教えてください。(複数回答)
自然に恵まれている ……55.9%
気候が温暖である ……46.2%
首都圏からのアクセスがよい ……16.1%
居住環境がよい ……1.1%
人情や気風が良い ……7.5%
医療が充実している ……25.8%
地域での助け合い・連帯感がある ……3.2%
食べ物美味しい、食材が豊富 ……18.3%
福祉サービスが充実している ……1.1%
教育が充実している ……0.0%
優れた歴史・文化がある ……3.2%
観光地としてよく知られている ……14.0%
その他 3.2%

問10 最後に、市政に関する意見や帰郷したときに感じたことなど、どんなことでも結構ですでお書きください。(自由回答)

- 観光資源に関すること ……24件
道路・公共交通に関すること ……14件
教育・文化に関すること ……5件
鴨川駅周辺に関すること ……18件
特産品に関すること ……8件
その他行政に関すること ……39件
ふるさと会に関すること ……3件
その他 ……3件

人材バンクの 登録結果

会では、会員の皆様が多様な経験や知識・技術・技能等を市の更なる活性化のために活かしていくことを目的として、本年三月から四月にかけて人材バンク登録票の配布・回収を実施しましたが、今般、平成十五年度に整備した教育ボランティアリストと統合し、ふるさと会人材バンクとして新たに整備しましたので、その結果を次のとおりご報告します。

今後、市行政が関係する様々な施策の検討や実施にあたって、この人材バンクを活用していく予定ですが、その状況については本会報でも逐次ご報告させていただく予定です。

【登録結果の概要】

総数 二十七名（今回登録十五名、教育ボランティア十二名） 四十一件

登録内容

- 学術 四件
- 芸術 六件
- 建築土木 二件
- 農水産 一件
- スポーツ 四件
- 教育 二件
- 観光 三件
- 医療 一件

- 福祉 三件
- 食文化 二件
- その他 十三件



かもがわの今

城西国際大学観光学部 第一期生の卒業

この春、平成十八年四月に市内の大海望洋の丘に開学した城西国際大学観光学部の第一期生が卒業しました。

景気後退による雇用不安が叫ばれる中、同学部では社会で即戦力となる人材育成や観光に関する資格の取得など、就職に有利な教育を積極的に進めてきた結果、希望者について100%の就職率となりました。

鴨川シーワールドやホテル三日月グループ、鴨川市役所など、市内事業所への就職事例もあり、今後、産官学の緊密な連携のもとでの市の更なる活性化に資するものと期待されています。

千葉ロッテマリーンズが 鴨川での一軍秋季キャンプの 実施を発表

本年四月、プロ野球パ・リーグの千葉ロッテマリーンズが、一軍秋季キャンプの鴨川市での実施を発表しました。

今期、バレンタイン監督の退団に伴い就任した西村新監督のもと開幕ダツシュに成功した同球団は、六月に入つてリーグ上位につけています。クライマックス・シリーズへの進出も期待されるため、日程については現段階で未定ですが、通常であれば十月中旬から十一月中旬ごろまでの一カ月程度の間、選手やコーチら七、八十人が市内に滞在する予定です。

小中学校の統廃合に伴う 廃校跡地の 利活用について

これまで、この会報などを通して会員の皆様にもお知らせしてきましたとおり、市では、市民や有識者から構成された学校適正規模検討委員会からの答申等に基づき、市内小中学校の再編を推進しており、平成二十三年度に鴨川・江見の両中学校を統合した新

「鴨川中学校」の開校を予定するほか、平成二十一年度には大山・吉尾・主基の各小学校を統合し小中一貫教育を行う「長狭学園」を既に開校しています。

今回は、これらの統廃合に伴い廃校となった学校跡地の利活用の状況についてお知らせします。

現在の鴨川中学校については、耐震基準に課題を抱える現校舎を取り壊したうえで、学校法人鉄蕉館が開設を計画する「亀田医療大学（仮）」に、主基小学校は文理開成高校の通信課程のスクーリングと日本語学校の設置を計画する学校法人村山学園に、市が所有する土地や建物をそれぞれ三十年間の契約で無償貸付することが平成二十二年三月に行われた市議会定例会で可決されました。

なお、「亀田医療大学（仮）」は、平成二十四年度の開学が計画されているもので、地域の深刻な看護師不足の現状を鑑み、当初は看護師の養成に重点を置くこととされていますが、高齢化社会の医療ニーズをにらみつつ、将来は多分野に渡る医療系の人材の育成を視野に入れることとされています。今後、地域における医療体制の更なる充実や、学

生の入学、卒業後における市内事業所への就職に伴う経済効果などが期待されています。

嶺岡牧シンポジウム

平成二十二年八月七日（土）午後一時から、シンポジウム『いかに嶺岡牧を地域の宝にするか！』が市文化体育館二階会議室で開催されます。

嶺岡山系一帯に広がっていた嶺岡牧は、江戸幕府が全国四箇所に設置した直轄経営の牧のひとつとして主に牛馬の育成が行われており、その起源は平安時代の中期に当時の朝廷が編纂した「延喜式」の記録にまで遡ることができると考えられています。

今回のシンポジウムでは、「NHKスペシャル 四大文明・インダス」等の著者である東海大学近藤英夫教授をはじめ、各分野の権威である研究者の方々にお集まりいただき、全国的な視野からの評価と、残されている多くの謎に迫る方法についてご教示いただく予定です。

どなたでもご参加いただけますが、定員（百名）がありますので、参加のお申込やお問合せは前もって事務局まで。



ふるさと納税

市では、居住地の市内外を問わず、市にゆかりのある方の想いを市政に活かしていくことを目的として、ふるさと納税（寄附）の受け入れを平成二十年度から実施しています。

寄附のお申出をいただいた方の想いを実際の取り組みに反映させていくため、お申出時に用途を選択いただける制度となっており、これまで、会員の皆様からも多くのお申出をいただいています。

平成二十一年度の収入実績は二百三十四万五千円（七十



http://www.city.kanogawa.chiba.jp/furusato_nouzei/index.html

六件）であり、そのうち会員の皆様からのものは八十五万五千円（二十一件）に上ります。また、平成二十年度からの累計では総計で四百三十二万円（百十六件）となり、う

鴨川ふるさと大使



昨年度の様子（大使委嘱式）

鴨川ふるさと大使は、鴨川市の特徴である豊かな自然環境・歴史・文化などの地域資源を広く宣伝周知していただき、市のイメージアップと観光振興を図るため設置しているもので、ご就任いただいた皆様には専用の名刺を作成させていただいたうえで、各種会合などの場における鴨川のPRをお願いしています。

平成二十一年八月からは、大使から受け取った名刺を市

内二箇所（鴨川駅前、小湊）の観光案内所の窓口でご提示いただいた方に、観光パンフレットや各種施設等の割引券が入ったウエルカムセットを提供しています。

平成二十二年五月末日現在で、会員からは七十名の方に大使としてご活躍いただいているところですが、会では今後も積極的に新規就任希望者を募集することとしており、本年度の総会当日には片桐市長から新任者へ直接委嘱状を交付させていただく予定です。

つきましては、本会報に就

ち会員からは百三十五万五千円（二十八件）のご寄附をいただいています。

地方分権の時代にあつて、市行政では各分野において積極的に新しい取り組みを進めています。本会報や同封の「鴨川のできごと」などをご参照のうえ、趣旨にご賛同いただける方におかれましては、今後ともご助力をお願いいたします。

ふるさと納税のお申出手続き等については、本会報に同封の申出書をご返送またはFAXいただくか、鴨川市ふるさと納税専用ホームページ「鴨川ふるさぽーと」をご参照ください。

掲載記事・広告の募集

事務局では、会員間のネットワークづくりを推進するため、の取り組みの一環として、会報に掲載する広告や記事を幅広く募集しています。会員の皆さんが関係する会社・団体等のPRなどの場として是非ご利用ください。

広告料はひとコマ（およそ十センチ×十センチ）で三千円から。広告と紹介記事を連動させるなど、掲載方法に際しては柔軟に対応いたしますので、まずは事務局までご相談を。

任関係書類を同封いたしましたので、ご意向をお持ちの方はこの機会に是非、ご登録をお願いいたします。

なお、鴨川ふるさと大使の事務局はこれまで鴨川市役所建設経済部商工観光課に置かれていましたが、ふるさと大使に占める会員の割合が増えたことに伴い、平成二十二年六月からはふるさと会と併せて総務部企画財政課（七月一日以降は企画政策課）が担当することとなりましたのでお知らせします。

お知らせ

鴨川市役所では平成二十二年七月一日付けで組織を改編しており、これに伴いまして、ふるさと会とふるさと大使の事務局は、これまでの企画財政課から、新たに設置されることとなる企画政策課に引き継がれることとなりますのでお知らせします。

会員の募集

会では、会員相互の親睦とネットワークづくりを図るとともにふるさとのまちづくり・活性化等に資するという設立の趣旨をより一層推進していくため、会員数五百名（平成二十二年五月末日現在の会員数二百九十六名）を当面の目標としています。

つきましては、現会員の皆様におかれましては、新規入会者のご紹介にご協力いただきたくお願い申し上げます。

事務局では、鴨川市内で開催される各種会合等の会場へ入会案内書類をご用意させていただきますなどの対応を行っておりますので、皆様のご出席される同窓会の予定等について、事務局までご連絡をいただけましたら幸いです。